



生菓子づくりはよかばんも～参加者募集

季節に合った生菓子づくりを老舗の和菓子職人が教えます



生菓子づくり体験では、桜(右)、ミカン(左)、ツバキを作ります。

2月の「よかばんも～体験」は、お祝いの席などでよく出されていた和菓子づくりを体験します。ひなまつりの季節にちなんだ桜、ミカン、ツバキの和菓子を作ります。教えてくれるのは、市内で今も生菓子を作り続ける創業70年の老舗「へそ栗山本舗 松福」です。作った和菓子は持ち帰ることができます。

- 日時 2月17日(日)、午後1時30分～3時30分
- 会場 柳川古文書館(ひな飾りを見学できます)
- 定員 先着20人
- 参加料 1人1200円(生菓子の試食、お茶付き)

- 持ってくるもの エプロン
- 申込方法 2月14日(木)までに、柳川アンテナショップ「おいでメッセ柳川」に電話かファクスで申し込み
- 【問】おいでメッセ柳川(☎・FAX 72・9510)

楽しめました 新鮮野菜の収穫体験

よかばんも～おいでん会は1月12日、六合のメンバーの畑で「シャキシャキ野菜の収穫体験会」を催し、市内外から約20人が参加しました。収穫した野菜は店頭価格より安く買い取れるとあり、参加者はにこにこ顔で畑のハクサイやニンジン、ダイコンなどを収穫。漬物講座もあり、農家ならではの漬け方を真剣に聞き入っていました。



この日はほかほかの陽気となり収穫体験を楽しむことができた

YOKAVANMOU

ドピックス

かわいいペットが人の迷惑になっていませんか

【問】市生活環境課環境係(☎ 77・8485)

愛犬のふんの片付けは飼い主の義務です

散歩中にした飼い犬のふんを片付けるのは、飼い主の義務です。ほとんどの人はきちんと片付けていますが、中には道端やよその敷地にしたふんを、そのままにする非常識な人もいます。ふんの放置禁止の看板を立てても効果がなく、苦情や相談が後を絶ちません。放置されたふんは、衛生面や悪臭で迷惑だけではなく、柳川を訪れた観光客の印象を悪くさせます。飼い犬を散歩させるときは、シャベルやビニール袋などを携帯し、ふんをしたときはきちんと片付けてください。

野良猫に餌をやらないでください

野良猫に餌を与えるのはやめましょう。かわいそう

だと思い、自分の都合だけで餌を与えることで野良猫が増え、他人の家でふんをしたり、ごみ袋を破ったりします。また交通事故に遭ったり、病気にかかったりする、かわいそうな猫を逆に増やす結果にもなります。猫を飼えない場合は餌付けをしないでください。また、猫を飼う場合でも放し飼いにせず、他人に迷惑がからないよう、自分の家や敷地内で最後まで責任を持って飼ってください。



地域で意見を出し合い要援護者を守る

六合地区で防災地域づくりの研修会を開催

地域に要援護者を支える仕組みを

高齢化などによって災害時に一人で避難できない要援護者が増えています。そこで、地域住民に要援護者避難支援の仕組みづくりをしてもらおうと1月20日、六合地区で第1回研修会が行われました。これは、平成24年度福岡県災害時要援護者避難支援事業の一環。会場となった六合小学校には、同地区の住民約50人が集まりました。

避難場所と避難ルートを地図で確認

研修会では、地域ごとに5つのグループに分かれ、住民同士で意見を出し合うワークショップを実施。参加者たちは、与えられた状況で避難するかどうかを選択するクロスロードや、地図を使って、水害が発生したときの避難場所や避難経路などを確認する災害図上訓練を行いました。災害図上訓練で参加者たちは、地図を指差しながら「堤防の近くは危ない」「ここはひざまで水が来ていた」など九州北部豪雨の経験をもとに避難の場所と経路を決定。その後、地域の要援護者宅をチェックして、誰と一緒に避難するかなどを確認しました。

六合地区で高齢者の割合が41.6パーセントと最も高い江崎地区の田中真澄区長は「要援護者を連れての

避難を考えるいいきっかけになりました。次は、地震や台風を想定して避難場所やルートを確認したいです」と研修会の感想を述べました。第2回研修会では、災害時の連絡と避難所への誘導体制などをまとめます。



【上】地図を見ながら地域の避難場所や避難経路を確認した



【左】最後にグループごとに避難の場所や経路を発表。グループ内で出た意見なども発表され、参加者全員で意見を共有した

九州北部豪雨を教訓に 防災無線 38局設置

災害時も安定した通信網ですばやい情報共有が可能に

市は昨年7月に発生した九州北部豪雨を受け、災害に強いまちづくりを目指して防災行政無線事業を進めています。具体的には、災害時も安定した通信ができ、すばやく情報が共有できるMCA無線システムを市役所各庁舎や小中学校、公民館などに38局設置。その他にも市内の携帯電話(ドコモ、au、ソフトバンク)に強制的に災害情報を配信する「緊急災害メール」の整備や屋外スピーカーの設置なども行います。

また、市は九州北部豪雨の被害を後世に伝えるため、浸水水位表示看板の設置を決定。被害が大きかった中山と六合地区内に合わせて10か所設けます。

防災行政無線事業の整備と浸水水位表示看板の設置は、3月末までに完了する予定です。

問い合わせは、市安全安心課(☎ 77・8485)まで。



【上】設置準備をしている屋外スピーカー

【左】屋外スピーカーを設置するために建てられている鋼管柱(下宮永町)